

# 平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

## 1. 学校概要

学校名 金沢市立新神田小学校 (※正式名称を記載)

種 別  保育園・幼稚園  小学校  小中一貫<sup>※注1</sup>

中学校  中高一貫<sup>※注2</sup>  高等学校

教員養成大学  専修学校、各種学校

特別支援学校

その他 (例：小中高一貫 )

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒921-8013

石川県金沢市新神田1-10-58

E-mail shinkanda-e@kanazawa-city.ed.jp

Website http://cms.kanazawa-city.ed.jp/shinkanda-e/

幼児児童生徒数 男子 153名 女子 171名 合計 324名

幼児・児童・生徒の年齢 6歳～12歳

## 2. 報告期間

平成29年4月～平成30年3月

## 3. 活動内容

### (1) 活動の概要

当校は、「魅力発見！わたしたちの『新神田』『犀川』そして、『金沢』」を活動テーマとして、ESDの実践を通して心豊かな児童の育成を目標とした。

具体的には、地域の人々とのかかわり、体験学習を柱に、①環境・生物多様性に係わる活動、②地域の伝統文化に係わる教育、③地域の伝統文化、文化遺産に係わる学習を行った。

#### ① 環境・生物多様性に係わる活動

3年生 ぼくたち、犀川探検隊！～四季の変化を感じながら～

地域に流れる犀川で、探検したり、生き物フィールドビンゴをしたりして、犀川に親しむ活動を行った。更に、植物調べをしたり、講師を招き水生生物調査をしたりして、犀川の生物や水質について知ることができた。学習したことを自分の言葉で図鑑にまとめることで、身近な犀川のよさを理解し、これからも犀川のよさを守っていこうとする心情を育むことができた。

## ② 地域の伝統文化に係わる教育

### (1) 4年生 伝統工芸を学ぶ

金沢にはどのような伝統工芸品があり、どのように受け継がれてきたかを一人一人が調べた。多くの伝統工芸が大切にされ「金沢の宝」としてのよさに気づき、学んだことを新聞にまとめ交流することができた。また、貼函職人を招き、「金沢貼函」作りを体験する事で、伝統工芸の素晴らしさや伝統を受け継ごうとする思いに触れ、さらに伝統工芸に親しみ、理解を深めることができた。

### (2) 5年生 いいね！ 郷土の食材 ～加賀野菜の魅力にせまろう～

郷土の野菜を調べて「加賀野菜」があることを知り、実際に地域の農家の方と一緒に、ヘタ紫なす、打木赤皮甘栗かぼちゃ、五郎島金時、金時草を育て、調理する活動を行った。加賀野菜についての学習を通して、郷土の自然や野菜の素晴らしさを改めて認識し、加賀野菜への興味関心を高めることができた。その魅力をプレゼンテーションにまとめ、全校へ向けての報告会を開き、広めることができた。

## ③ 地域の文化遺産に係わる学習

### 6年生 発見！ 金沢の歴史・文化

金沢の歴史や文化を感じる場所を学び、自分たちが訪れたい場所をピックアップし、調べ活動の後、パンフレットを作成した。そして金沢観光ボランティアガイドの「まいどさん」とともに歴史的建造物や文化的施設を見学した。この体験や「まいどさん」とのふれあいから改めて金沢のよさに気づき、それらを学習発表会で全校児童、保護者・地域の方に知らせることができた。子ども達は歴史や文化を大切にしていける心や昔から今に受け継がれてきている先人達の技術や思いを知り、金沢のまちに誇りと愛情を持つことができた。

①3年生 ぼくたち、犀川探検隊



②-(1)4年生 伝統工芸を学ぶ



②-(2)5年生 いいね！郷土の食



③6年生 発見！金沢の歴史・文化



## (2) 活動の詳細

### ① 活動内容

#### ア. 活動分野（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input checked="" type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他( )		

#### イ. 活動を通して育みたい資質や能力（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入 )	

#### ウ. 活動時間（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述 )	

#### エ. 使用した教材（書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名）

「華やか金沢 五つの彩り」金沢市小学校伝統・文化副読本 (出版)金沢市教育委員会 (出版年)平成 29 年 「こども金沢市史」こども金沢市史編さん委員会//編集 (出版)金沢市 (出版年)2012 年
---

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

学年毎に、指導内容を月ごとに示した ESD カレンダーを教育課程とは別に作成している。課題解決型の学習過程を重視した教育課程を編成した上で、それらを教科横断的な指導計画にまとめ、学校全体の教育活動と絡めて位置付けている。特に、人との関わりや体験活動を重視した取り組みをしている。毎年、各学年で学習内容、指導方法、ESD カレンダー等を必ず見直し、次年度に生かしている。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

学習の成果を全校や保護者・地域の方に発信する場として、学習発表会を毎年、2 学期に行っている。発表後は、学習した内容をより効果的に伝えられたかどうかをふり返っている。また、他の児童に向けて発表内容の良さを手紙で伝える取り組みを行っている。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

児童にアンケートを7月と12月に実施している。アンケートでは「調べたり考えたりする力がついた」が64%から67%に、「地域のことに興味を持ったり好きになったりした」では65%から68%に上昇した。児童の主体的な姿が少しずつ増え、地域の良さも再発見でき、地域を愛する心情を育むことができた。今後は、自ら進んで課題に向けて取り組もうとする姿を目指す。また、地域とつながり、その良さや特色をより身近に感じ取り、大切にしていこうという心情を養っていく。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度)

学んだことを全校、保護者、地域の方に発信する場として十月に学習発表会を実施している。そこでは、学年毎に学んだことをクイズや劇等様々な形態で行っている。また、5年生は異学年交流での発信の場を3学期に設けている。子ども達自身がプレゼンターとなり、相手意識を持って学んだことを伝えた。自分達の学びをわかりやすく伝える工夫を考えたことで、伝える喜びや楽しさを感じることができた。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)  
(200字程度)

3年生は、「ぼくたち、犀川探検隊」で、自然観察指導員(日本シェアリングネイチャー協会)から水生生物調査の方法や観察について学んだ。4年生は、「伝統工芸を学ぶ」で、金沢貼函作りをものづくりマイスター(石川県職業能力開発協会 出前ものづくり講座)から教えていただいた。6年生は、金沢観光ボランティアまいどさん(金沢市観光協会)から歴史的文化的施設について案内を受けたり学んだりした。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度)

2月に金沢ユネスコスクールこどもサミットを市内全小学校の代表児童が集まり、ポスターセッションを行う予定だった。本校児童代表2名(5年生)が郷土の食材について発表する予定で練習を重ねていた。しかし、大雪のため中止になり、代わりに金沢ユネスコスクールこどもサミットポスター展示会が行われ、ポスターセッションで使用する予定だったポスターを玉川こども図書館にて展示した。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）

学習の成果を発信する場として、異学年への発表の機会を設けたり、学習発表会で全校児童、保護者・地域の方に広めたりする機会を活用した。児童は自分たちの学びをわかりやすく伝えるための工夫を考えていくことで、学んだことを次に伝える喜びや楽しさを感じることができた。教師側も、発信の場に向けて授業や指導方法等を工夫することができた。地域・保護者も例年の学習発表会を楽しみに、訪れてくるようになった。

- (3) 平成30年度の活動計画（200～400字程度）

教育課程に沿って計画的に実施する。  
3年生 ぼくたち、犀川探検隊(4月～9月)  
4年生 伝統工芸を学ぶ(4月～6月)  
5年生 いいね！郷土の食材(4月～3月)  
6年生 発見！金沢の歴史・文化(6月～11月)  
学習発表会(10月)

